

利根沼田も急速に感染拡大！

新型コロナウイルス感染10歳以下から90代まで

全国ではコロナ感染拡大第4波が広がり、3度目の緊急事態宣言が発令され、利根沼田地域では幸い2月以降感染拡大は止まっていますが、4月15日に1人発生してから27日までに13人と急速に感染が拡大し始めました。利根沼田では、コロナワクチン接種は医療関係者がまだ終了していません。5月11日から介護施設などの入所者と職員に接種が始まる予定です。

高齢者の市民には、5月11日からワクチン接種の受付が始まります。全国では電話やパソコンがつかなくなったりして、市役所に大勢の高齢者が詰めかけるなどの事態が起きています。高齢者のみなさんは、6月になれば医療機関でも接種が受けられるので、あわてずに感染予防対策をしっかりとって、対応しましょう。



ワクチンの集団接種会場になる沼田市保健福祉センター

利根沼田保健所管内における4月以降の感染状況

日付	年齢	性別	職業	発症日	症状
4月15日	30代	女性	会社員	14日	発熱咽頭痛頭痛
16日	20代	男性	会社員		
	10歳以下	男性			
	40代	女性	会社員		
	10代	男性			
21日	40代	女性	個人事業主	20日	倦怠感咽頭痛
	20代	女性	アルバイト	21日	発熱等
26日	40代	女性	パート従業員		
27日	40代	男性	団体職員		無症状
	30代	男性	学校職員		無症状
	50代	男性	学校職員		安定
	20代	男性			無症状
	90代	女性	無職		咽頭痛発熱

国政3補欠選挙野党統一圧勝！

菅政権初の国政審判下る

4月25日投票で行われた菅政権に対する初の国政3補欠選挙で、市民と野党の統一候補が全勝し、菅政権の新型コロナウイルス感染症対策や金権腐敗政治に対し、国民は厳しい審判を下しました。市民と野党は、3選挙区すべてで政策協定を結び、幅広い勢力を結集してたたかい、「共闘」の力を発揮しました。



衆院北海道2区補選では、松木謙公氏が「戦争させない市民の風・北海道」、日本共産党を含む野党と協定を結び、「冷酷で強権的な菅自公政権を終わらせる」ことで合意しました。

参院長野選挙区補選では、羽田次郎氏が市民と野党（日本共産党、立憲民主党、社会民主党）の統一候補として勝利し、2016年、2019年につづき参院の共闘の議席を得ました。

参院広島選挙区再選挙では、市民と野党統一でフリーアナウンサーの宮口治子氏が自民党公認、公明党推薦の候補者を破って初当選し、自民党が起こした「政治とカネ」の問題に県民が厳しい審判を下しました。

総選挙にむけた協力のための協議開始で一致

志位委員長、立憲・枝野代表と党首会談

国政補欠選挙等の勝利を受けて27日、日本共産党の志位和夫委員長と立憲民主党の枝野幸男代表は国会内で会談し、総選挙にむけた協力のための協議を開始することで一致しました。共産党からは小池晃書記局長、立憲民主党からは福山哲郎幹事長が同席しました。

2021年5月2日 No.1016

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料